

2024年12月期 第2四半期 決算説明資料



FUJISOFT

2024年8月8日

富士ソフト株式会社
(証券コード：9749)

2024年 12月期 第2四半期決算

P2. 連結：業績ハイライト

P3. 連結：営業利益の状況

P4. 通期業績予想 進捗状況(売上高・営業利益)

P5. 連結：セグメント別 売上高・営業利益

P6. 連結：SI事業の受注高・受注残高

P7. 単体・グループ会社 売上高・営業利益の状況

P8. 中間配当について

P9. 上期業況および中期経営計画の進捗

P14. 財務データ

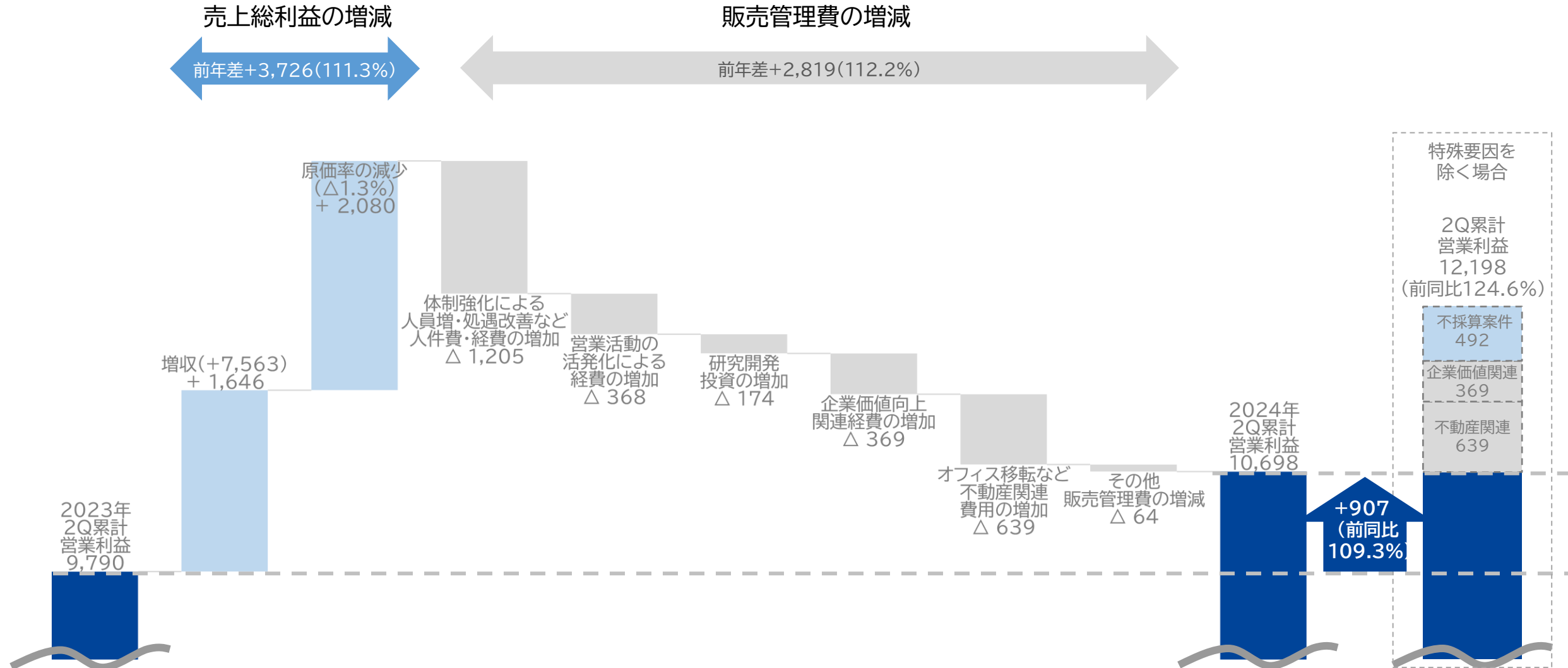
連結：業績ハイライト（1-6月）

(単位:百万円)	2023年12月期 2Q累計実績	2024年12月期 2Q累計実績	前同差	前同比
売上高	151,480	159,044	+7,563	105.0%
売上総利益	32,975	36,702	+3,726	111.3%
売上総利益率	21.8%	23.1%		
営業利益	9,790	10,698	+907	109.3%
営業利益率	6.5%	6.7%		
経常利益	10,166	10,513	+346	103.4%
経常利益率	6.7%	6.6%		
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,061	12,209	+6,148	201.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	4.0%	7.7%		

- ・売上高：プロダクト・サービス事業は伸長しなかったものの、主力のシステム構築分野が好調に推移したことで増収
 - ・業務系：製造業、流通・サービスを中心に各分野が好調に推移
 - ・組込系：自動車関連が好調に推移
- ・売上総利益：不採算案件（上期累計 約9億円）の影響はあったものの、増収および収益性改善などにより増益
- ・営業利益：オフィス移転、企業価値向上関連、処遇改善など販管費の増加はあったものの、増収により増益
- ・経常利益：上場子会社TOB関連費用など営業外費用の増加はあったものの、増収により増益
- ・当期純利益：特別利益 不動産売却益(売却益約80億円) の計上により増益

連結：営業利益の状況（1-6月）

(単位：百万円)



通期業績予想 進捗状況(売上高・営業利益)

売上高	通期予想 3,150億円	
	上期予想 1,586億円	下期予想 1,564億円
	上期実績 1,590億円 (上期予想進捗100.3%)	

・ 中国経済の不透明感から一部顧客におけるIT投資の抑制は見られるものの、DXを背景とした投資需要の拡大基調は継続しており、業務システム開発では各分野好調に推移し、組込/制御系：自動車分野が好調に推移した結果、上期計画進捗100.3%と計画通り推移

営業利益	通期予想 220億円	
	上期予想 103億円	下期予想 117億円
	上期実績 107億円 (上期予想進捗103.9%)	

・ 不採算案件の影響はあったものの、他社製品販売案件の減少による売上高構成の変化や収益性改善の効果もあり、上期計画進捗103.9%と堅調に推移

連結：セグメント別 売上高・営業利益（1-6月）

	2024年12月期売上高		前同差	前同比	2024年12月期営業利益		前同差	前同比
	(単位:百万円)	2Q累計実績 構成比			2Q累計実績	営業利益率		
全社計	159,044	100.0%	+7,563	105.0%	10,698	6.7%	+907	109.3%
SI事業	150,753	94.8%	+7,601	105.3%	10,208	6.8%	+1,273	114.3%
システム構築	97,887	61.5%	+9,669	111.0%	7,890	8.1%	+1,833	130.3%
組込系/制御系ソフトウェア	40,601	25.5%	+1,617	104.2%	3,718	9.2%	+465	114.3%
業務系ソフトウェア	57,285	36.0%	+8,051	116.4%	4,171	7.3%	+1,368	148.8%
プロダクト・サービス	52,866	33.2%	△ 2,067	96.2%	2,318	4.4%	△ 560	80.5%
※1 プロダクト・サービス	46,227	29.1%	△ 1,526	96.8%	1,931	4.2%	△ 638	75.2%
アウトソーシング	6,639	4.2%	△ 541	92.5%	387	5.8%	+77	125.1%
ファシリティ事業	1,433	0.9%	△ 27	98.1%	122	8.5%	△ 358	25.5%
その他事業	6,856	4.3%	△ 10	99.8%	366	5.4%	△ 7	98.0%

※1 当期より一部子会社にてセグメント変更をしております。
 プロダクト・サービスからシステム構築に変更
 (影響額：売上高 1,699百万円・営業利益 196百万円)

SI事業：セグメント別売上高・営業利益のポイント

●組込系/制御系ソフトウェア

社会インフラ系開発案件は減少したものの、自動車関連：EV関連・ADAS/自動運転分野が好調に推移したことにより増収増益

●業務系ソフトウェア

不採算案件の影響はあったものの、製造業の業務システム開発や流通・サービスのEC関連・POS関連開発案件などを中心に、各分野が好調に推移したことにより増収増益

●プロダクト・サービス

CAE関連案件は増加したものの、子会社のセグメント変更の影響および、他社製品販売が減少したことにより減収減益

●アウトソーシング

運用・保守案件の減少により減収となったものの、小売業向け運用・保守案件の生産性改善が寄与し増益

連結：SI事業の受注高・受注残高（1-6月）

(単位:百万円)	2024年12月期 2Q累計実績							
	期首受注残高	前同比	受注高	前同比	売上高	前同比	期末受注残高	前同比
SI事業 合計	74,775	102.5%	153,310	105.9%	150,753	105.3%	77,332	103.6%
システム構築	47,898	103.2%	98,979	111.9%	97,887	111.0%	48,991	105.1%
組込系／制御系ソフトウェア	16,152	108.5%	41,029	103.5%	40,601	104.2%	16,579	106.7%
業務系ソフトウェア	31,746	100.6%	57,950	118.8%	57,285	116.4%	32,412	104.3%
プロダクト・サービス	26,876	101.3%	54,330	96.3%	52,866	96.2%	28,340	101.2%
※1 プロダクト・サービス	25,341	102.5%	47,939	97.5%	46,227	96.8%	27,053	103.5%
アウトソーシング	1,535	84.4%	6,391	88.3%	6,639	92.5%	1,287	68.7%

※1 当期より一部子会社にてセグメント変更をしております。
 プロダクト・サービスからシステム構築に変更
 (影響額 受注高 2,290百万円・受注残高 592百万円)

SI事業：セグメント別受注高のポイント

●組込系／制御系ソフトウェア

社会インフラ系および機械制御系分野の受注は減少したものの、予てより好調だった自動車関連分野に加え、モバイル系が伸長し、組込／制御系全体では堅調に推移

●業務系ソフトウェア

流通・サービス向けのEC関連・POS関連開発および製造業の業務システムを中心に、各分野ともに好調に推移

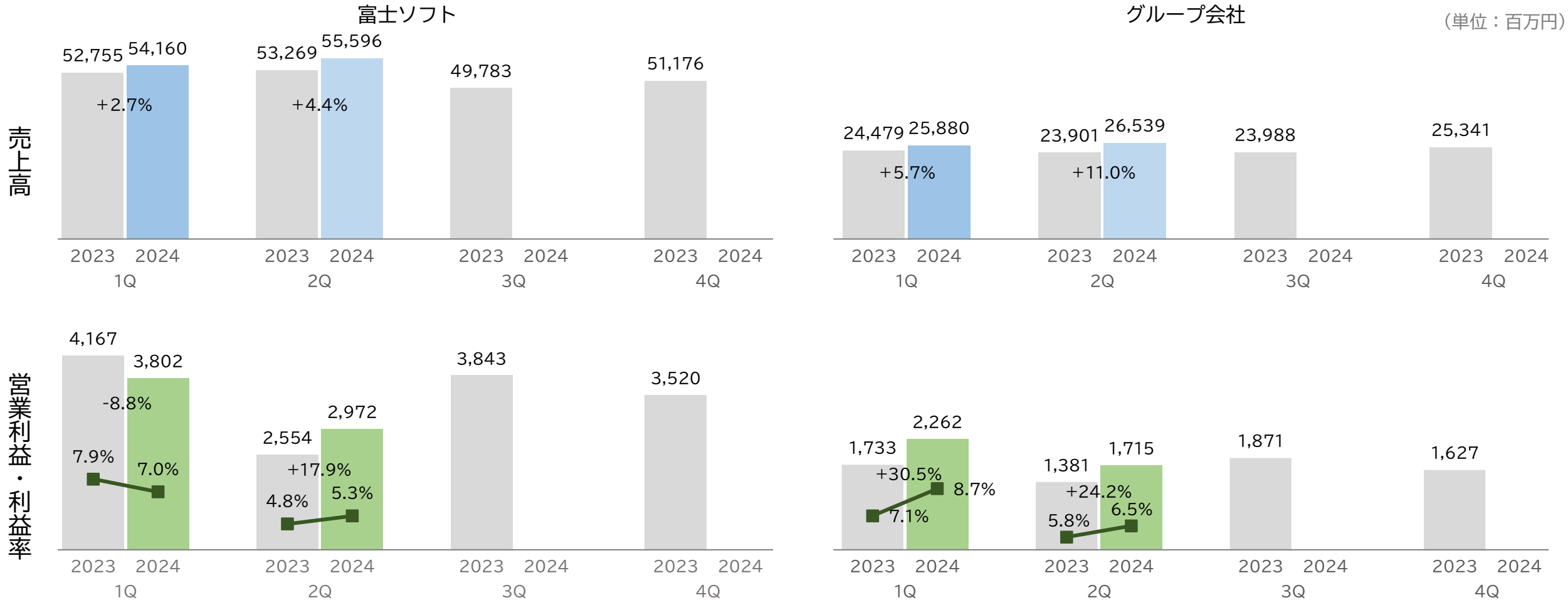
●プロダクト・サービス

CAE製品関連は増加したものの、他社製品販売の減少および子会社のセグメント変更の影響により減少

●アウトソーシング

国内顧客向け運用・保守案件の減少

単体・グループ会社 売上高・営業利益の状況



富士ソフト(第2四半期)

- ・売上高 : 他社製品販売は減少したものの、組込/制御系：自動車分野および、各分野向けの業務系システム開発の伸長により増収
- ・営業利益：オフィス移転・企業価値向上関連の費用増の影響はあったものの、増収および、収益性改善により増益

グループ会社(第2四半期)

- ・売上高 : CAE製品ライセンス販売および小売業向け業務系システム開発の伸長により増収
- ・営業利益：増収および、前年不採算案件の反動減により増益

【2024年12月期 中間配当】

中間配当については、期初計画通り、一株当たり中間配当金額は42円といたします。

	2024年度 期初計画	2024年度 上期実績
一株当たり中間配当金	42.00円	42.00円
配当性向(連結)	(年間) 25.2% (35.1%) ※1	(中間配当時点) 21.7% (39.6%) ※2



















※1 前期末に発表した、2024年度12月期における保有不動産(A判定物件)の売却益計画数値を除いた場合

※2 2024年度12月期上期時点における保有不動産(A判定物件)の売却益を除いた場合

上期業況および中期経営計画の進捗状況

2024年 上期業況：業種別 売上状況

世界的なインフレ・中国経済の先行き懸念、急激な為替の変動など国内外の景気の先行きは不透明な状況ではあるものの、多岐にわたる業種で事業拡大や競争力強化を目的とした戦略的なシステム投資需要の拡大基調は継続

お客様業種	主な連結セグメント				
	システム構築分野		プロダクト・サービス		その他
	組込・制御系	業務系	自社プロダクト	他社プロダクト	
機械製造業 FA、医療、モバイル、家電、エレクトロニクス、他	 一部顧客において、中国経済の影響による投資抑制はあるものの、産業・OA分野の開発増等により前年並	 製造業向けの生産・販売管理などの基幹系開発や、システムインフラ基盤の構築など好調に推移	 CAE系	 CAE系	
自動車関連	 EV、ADAS/自動運転分野、SDV化の推進に向けた統合ECUの研究開発など幅広く好調継続				
社会インフラ系 通信系、交通、エネルギー、他	 主に通信系(通信制御デバイス向け・基地局向け)の減少		 more NOTE	 他社ライセンス (MS、VMware、AWS、Salesforce等)	 物販系 (PC・サーバ・タブレット等)
金融業 生保、損保、クレカ、銀行、証券、他		 生保・損保の顧客中心に業務システム開発が堅調	 証券系ソリューション		
流通業 小売り、卸、EC、他		 ECサイト向け開発、小売業向け業務システム開発が好調	 FAMシリーズ	 流通系ソリューション	
公共系 官公庁、教育、他			 みらいシリーズ		
その他 情報通信、その他サービス、一般コンシューマ、他		 (その他業務系分野) 情報通信業向けを中心とした、様々な分野の顧客への業務システム開発が好調継続	 WiFiルーター		 BPO、コールセンター

2024年 上期業況：重点技術戦略：＜AIS-CRM＞の状況（単体上期）

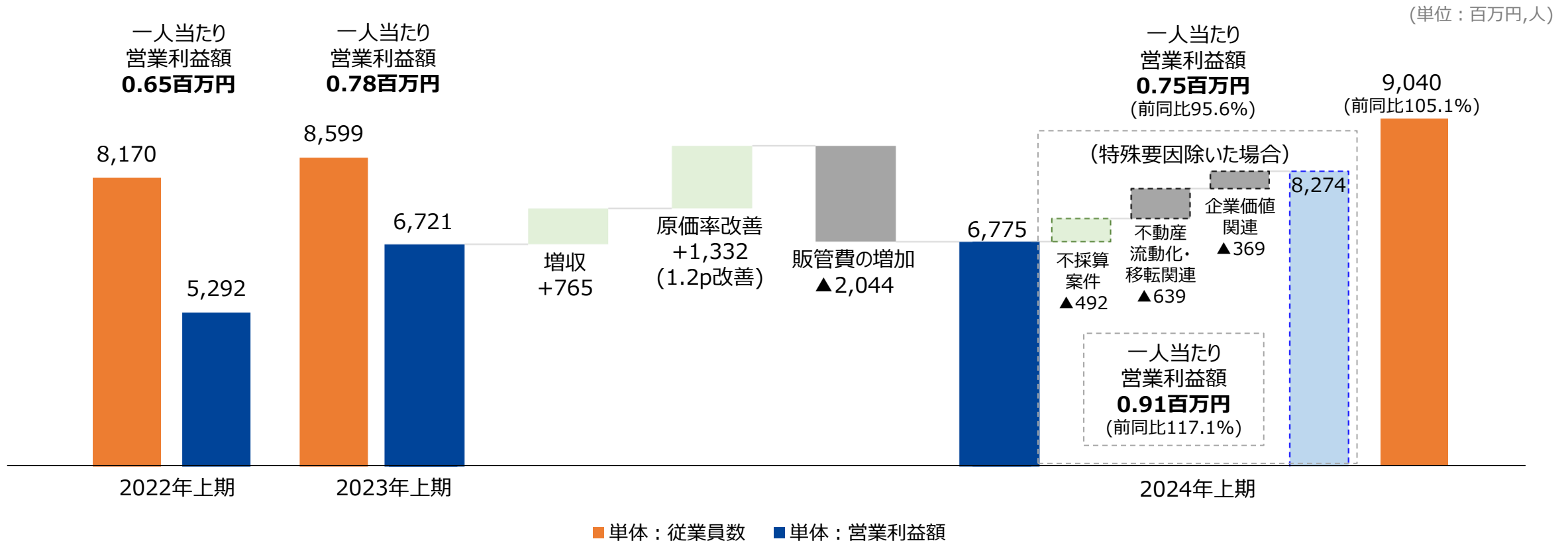
	2023年上期 655億	前年比 +3.2%	2024年上期 676億
AI	開発中心 <u>19億円</u>	+21.6%	開発中心 <u>23億円</u>
IoT	開発中心 <u>17億円</u>	-15.1%	開発中心 <u>15億円</u>
Security	開発、 ライセンス <u>77億円</u>	+19.4%	開発、 ライセンス <u>93億円</u>
Cloud	ライセンス、SI、インフラ関連、 ネットビジネス分野 等 <u>367億円</u>	-4.8%	ライセンス、SI、インフラ関連、 ネットビジネス分野 等 <u>350億円</u>
Robot	開発中心 +PALRO、ロボSI 等 <u>26億円</u>	-12.8%	開発中心 +PALRO、ロボSI 等 <u>23億円</u>
Mobile	開発、 プロダクト 等 <u>36億円</u>	-2.0%	開発、 プロダクト 等 <u>35億円</u>
Auto Motive	開発中心 <u>111億円</u>	+23.2%	開発中心 <u>137億円</u>

中期経営計画：一人当たり営業利益状況（富士ソフト単体：上期推移）

2024年2月に発表した中期経営計画2028にて「一人当たり営業利益額」を最重要KPIに設定。

本上期時点においては特殊要因により、主に販管費の増加影響があったものの、同影響を除外した場合の一人当たり営業利益額は大きく改善しており、既存事業における収益性施策を進めた結果、想定を上回る改善ができた。

今後もお客様への付加価値提供を向上させつつ販管費の適正化を進め、更なる収益性の改善を推進。



※従業員数：臨時・嘱託・受入社員および、各種休業・休職中の社員を除く

自社保有不動産 流動化状況

【A判定物件に関する進捗状況：6月末時点】

該当物件 8件 全て完了

A判定物件：両国、福岡、大阪、我孫子第1・第2、厚木第2オフィス、八王子本館・新館

不動産売却益：約80億円（2024年上期累計 特別利益にて計上）

【その他物件についての状況】

流動化判定	判定基準	該当物件数	主要物件	スケジュールと進捗状況
B判定	流動化を前提に進めているが、調整等に一定の時間を要する物件	9件	秋葉原	当社保有物件の中でも大規模かつ、当社固有の設備利用やテナントとの関係などの特別な事情を有するため、流動化プロセスに一定の時間を要する見込み 2023年8月開示の1年後（2024年8月）を目処に実行を目指し進行中 2024年8月8日 時点：当初スケジュールから遅延は発生しているものの、流動化方針に変更はなく、実行時期含め現在詳細検討中
			錦糸町	
			大宮	
C判定	流動化スキームやタイミング、移転の必要性等を慎重に検討する物件	5件	新名古屋	オフィスやデータセンター等でフルに事業活用する物件。流動化スキームやタイミング、移転の必要性等を慎重に検討する
			桜木町	
D判定	土地取得条件により一定期間譲渡不可のため、当面流動化対象外	1件	汐留	土地取得条件により一定期間譲渡不可

財務データ：連結損益計算書・連結貸借対照表・連結キャッシュフロー計算書

・連結損益計算書

	2023年12月期 (単位:百万円) 2Q累計実績	2024年12月期 2Q累計実績	前同差	前同比
売上高	151,480	159,044	+7,563	105.0%
売上原価	118,504	122,341	+3,836	103.2%
売上原価率	78.2%	76.9%		
売上総利益	32,975	36,702	+3,726	111.3%
売上総利益率	21.8%	23.1%		
販売費及び一般管理費	23,184	26,004	+2,819	112.2%
販管费率	15.3%	16.4%		
営業利益	9,790	10,698	+907	109.3%
営業利益率	6.5%	6.7%		
営業外収益	676	417	△ 258	61.7%
営業外費用	300	602	+302	200.5%
(持分法による投資損益)	-156	△ 9	+147	5.8%
経常利益	10,166	10,513	+346	103.4%
経常利益率	6.7%	6.6%		
特別利益	489	8,010	+7,520	-
特別損失	117	60	△ 56	51.8%
税金等調整前四半期純利益	10,539	18,463	+7,923	175.2%
法人税等合計	3,547	6,162	+2,614	173.7%
四半期純利益	6,991	12,300	+5,309	175.9%
非支配株主に帰属する四半期純利益	930	91	△ 839	9.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,061	12,209	+6,148	201.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	4.0%	7.7%		

・連結貸借対照表

	2023年12月期 (単位:百万円) 期末	2024年12月期 2Q期末	前期末差
流動資産	123,153	122,153	△ 999
現金及び預金	35,324	40,777	+ 5,453
受取手形及び売掛金	62,696	62,941	+ 244
有価証券	8,100	1,700	△ 6,400
たな卸資産	5,919	5,059	△ 859
その他	11,112	11,674	+ 561
固定資産	134,443	131,757	△ 2,685
有形固定資産	104,163	100,642	△ 3,521
無形固定資産	5,544	5,320	△ 224
投資その他の資産	24,734	25,795	+ 1,060
資産合計	257,596	253,911	△ 3,685
流動負債	112,740	111,712	△ 1,028
支払手形及び買掛金	13,664	15,391	+ 1,727
短期借入金	47,504	54,369	+ 6,864
コマーシャル・ペーパー	4,000	-	△ 4,000
未払費用・賞与引当金	17,114	16,774	△ 339
未払法人税等	5,789	5,913	+ 123
工事損失引当金	345	146	△ 199
その他	24,321	19,116	△ 5,205
固定負債	15,934	7,388	△ 8,545
長期借入金	8,524	51	△ 8,472
その他	7,410	7,337	△ 73
負債合計	128,674	119,100	△ 9,573
純資産合計	128,921	134,810	+ 5,888
負債純資産合計	257,596	253,911	△ 3,685

・連結キャッシュフロー計算書

	2023年12月期 (単位:百万円) 2Q累計実績	2024年12月期 2Q累計実績	前同差
営業活動による キャッシュ・フロー	8,615	5,518	△ 3,097
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,934	12,472	+16,406
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 5,927	△ 13,768	△ 7,840
現金及び現金同等物に 係る換算差額	234	407	
現金及び現金同等物の 増減額	△ 1,011	4,630	
現金及び現金同等物の 期首残高	33,086	34,785	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	32,075	39,415	

財務データ：単体 損益計算書・単体 セグメント別損益

・単体損益計算書

	2023年12月期 (単位:百万円) 2Q累計実績	2024年12月期 2Q累計実績	前同差	前同比
売上高	106,024	109,756	+3,732	103.5%
売上原価	84,282	85,917	+1,634	101.9%
売上原価率	79.5%	78.3%		
売上総利益	21,741	23,839	+2,097	109.6%
売上総利益率	20.5%	21.7%		
販売費及び一般管理費	15,020	17,064	+2,044	113.6%
販管費率	14.2%	15.5%		
営業利益	6,721	6,774	+52	100.8%
営業利益率	6.3%	6.2%		
営業外収益	1,373	461	△ 912	33.6%
営業外費用	72	291	+218	-
経常利益	8,022	6,944	△ 1,078	86.6%
経常利益率	7.6%	6.3%		
特別利益	489	7,995	+7,506	-
特別損失	983	543	△ 439	55.3%
税金等調整前四半期純利益	7,528	14,396	+6,867	191.2%
法人税等合計	2,147	4,540	+2,392	211.4%
四半期純利益	5,380	9,855	+4,474	183.2%

・単体セグメント別業績状況

	2024年12月期売上高		前同比	原価率	販管比率	2024年12月期営業利益		前同比	営業利益率 前同差
	(単位:百万円)	2Q累計実績 構成比				2Q累計実績	営業利益率		
全社計	109,756	100.0%	103.5%	78.3%	15.5%	6,774	6.2%	100.8%	△ 0.2pt
SI事業	108,052	98.4%	103.7%	78.7%	15.1%	6,646	6.2%	106.6%	+0.2pt
システム構築	77,519	70.6%	109.4%	73.8%	18.5%	5,998	7.7%	117.1%	+0.5pt
組込系/制御系ソフトウェア	37,804	34.4%	105.3%	72.7%	18.0%	3,502	9.3%	113.6%	+0.7pt
業務系ソフトウェア	39,714	36.2%	113.6%	74.8%	18.9%	2,496	6.3%	122.4%	+0.5pt
プロダクト・サービス	30,533	27.8%	91.4%	91.3%	6.6%	647	2.1%	58.0%	△ 1.2pt
他社プロダクト	26,739	24.4%	92.7%	93.0%	5.1%	525	2.0%	48.8%	△ 1.8pt
自社プロダクト	1,547	1.4%	108.4%	72.8%	16.6%	164	10.6%	200.7%	+4.9pt
アウトソーシング	2,245	2.0%	71.8%	83.8%	18.0%	-42	-	-	-
ファシリティ事業	1,704	1.6%	98.9%	50.4%	42.1%	128	7.5%	26.4%	△ 20.7pt



・本資料は、当社及びグループ会社の業績状況及び事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の購入や売却、保有継続を推奨するものではないこと、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

・本説明会内容及び、本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。その実現・達成を約束するものではなく、実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性があります。また、今後、予告なしに内容は変更されることがあります。

・本資料利用の結果で生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。また、本資料の無断複製・転載は行わないようお願い申し上げます。